

## 【生ごみ処理機器モニターレポート Vol.15】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声をお届けしていきます。

今回は、電気生ごみ処理機のモニターさんに、3か月使用して感じたことを聞いてみました。

- ・電気生ごみ処理機の存在自体を知らなかったこと。
- ・生ごみがこんなにゴミとして出ることを実感した。
- ・生ごみが軽くなり、においも無くなること。
- ・以前利用していた段ボールコンポストでは気温の低さからか、たい肥化が難しくあきらめていたが、

水分の多いものは電気生ごみ処理機を利用すると生ごみが無かったかのように減量されること。

電気代についても聞いてみました。

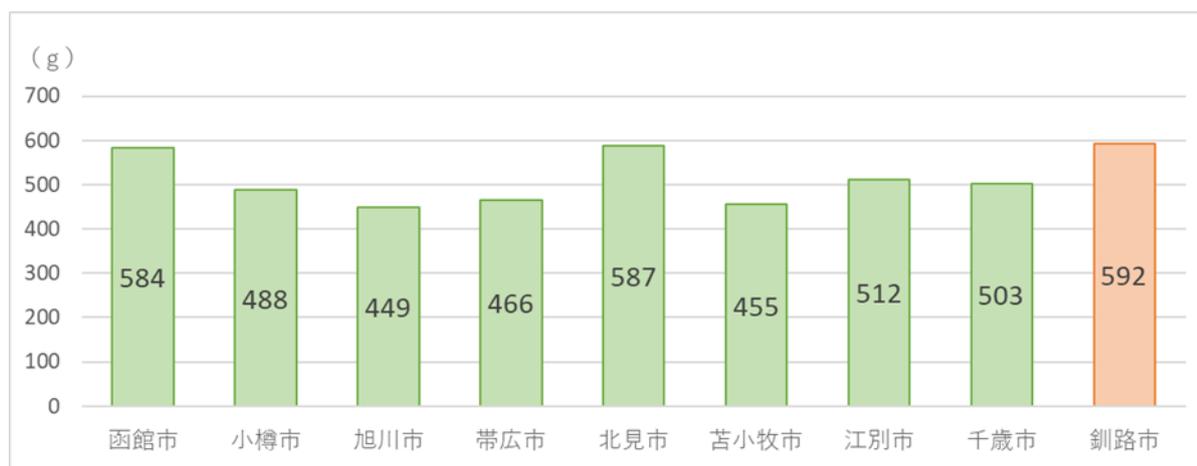
- ・昨年と使用量を比較したところ、6月と8月は前年同月よりも少ない結果となりました。
- ・さほど変わったとは思いません。
- ・電気使用量を昨年と比較した結果、わずかですが上昇気味でした。ただし、許容範囲だと捉えています。

グラフは「家庭から排出される1人1日あたりの廃棄ごみ量」を道内主要都市と比較したものです。

釧路市の廃棄ごみ量が、一番多い状況です。

※「廃棄ごみ」とは、ごみ全体から資源物を除いたものです。

生ごみの減容・減量化とともに、廃棄ごみ量の削減にご協力をお願いします。



家庭から排出される1人1日あたりの廃棄ごみ量（令和2年度実績）

### 【令和4年度生ごみ処理機器モニター事業について】

今年度、釧路市では生ごみ処理機器のモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp